# ファイル管理の追加機能

## EMLビューア

EML形式の電子メールのメッセージファイルをファイル管理から閲覧して操作する事ができます。本機で作成または受信したメールはFlashdiskの「Email」フォルダの「messaging/EML」に保存されますが、ここに保存されているデータはEMLビューアから操作する事ができません。Flashdisk内の他の場所やUSBメモリやSDカードに保存してあるEMLファイルを読むための機能です。メインメニューの電子メールを使うよりも素早くメールを読む事も可能です。閲覧したいEMLファイルを表示した状態でエンターを押すとEMLビューアでメールを開くことができます。

EMLビューアでメッセージを開くと「タイトル」フィールドを表示します。EMLビューアダイアログには以下のコントロールがあります。これらはF3で切り替える事ができます。

1. タイトル
2. 日付
3. 差出人
4. メッセージ本文
5. 添付ファイルリスト
6. 転送ボタン
7. 返信ボタン
8. 閉じるボタン

メッセージ本文内では通常の文書ファイルと同様に操作が可能です。※操作の詳細はワードプロセッサの項をご参照ください。

転送、返信ボタンを使う事でEMLビューアからメールの転送や返信を行う事ができます。転送ボタンや返信ボタンでエンターを押すと電子メールプログラムを使って新しいメッセージダイアログを表示し、メッセージの作成を行う事ができます。メールの作成方法等についての詳細は電子メールの章をご参照ください。

閉じるボタンでエンターを押すか、Space-zを押すことでEMLビューアを終了する事ができます。

## Google ドライブ

ファイル管理の機能を使ってGoogleドライブにアクセスできます。

現在、直接Googleドライブのファイルを開く事はできませんが、Googleドライブと本機の間でデータの転送を簡単に行うことができます。初めてGoogleドライブにアクセスするとGoogleのサインインページに移動します。F3とSpace-F3を使ってサインインを行ってください。

サインインしている状態であれば、アカウントの選択とアクセスリクエストの許可を求められます。使用するアカウント名でエンターを押し、次に「許可」ボタンへ移動してエンターを押してください。完了すればGoogleドライブのデータリストを表示します。

現時点では本機からGoogleドライブの操作はファイルやフォルダの管理に限定されています。Googleドライブはデータ圧縮や展開に対応していないため、Googleドライブ実行時のメニュー項目は通常のファイル管理よりも制限されます。

# ノートパッド

ノートパッドはrtf、txt、hbl、brl、brf及びフォーマットされていないdocxファイルの読取と作成をサポートしています。pdf、epub、doc、docxを開くことができます。

PowerPointのファイルの閲覧、word文書のフォーマット作成や保存は前章で説明したワードプロセッサを使用してください。

【参考】ノートパッドを使ってWord文書を開く事はできますが、書式設定などの情報がすべて削除されます。

ノートパッドを起動するには、メインメニューのノートパッドで、Enterを押してください。または、メインメニューでショートカットキーnを押すと、ノートパッドを開くことができます。簡単設定コマンドはF1-nです。

ノートパッドを起動すると、空白の新規文書を開きます。ノートパッドの全ての機能を使用するには、ノートパッドのメニューまたはホットキーを使用します。メニューは、ファイル、編集、挿入、移動、読み上げ、レイアウトで構成されています。これらのメニューを使用するには、F2を押します。上下スクロールを使用してメニュー項目を選択し、Enterを押して実行します。

メニュー、設定、ファイルリストの操作には、上下スクロールキーを使用します。 F3を使用して、ダイアログ内のコントロール間を移動します。項目を実行するにはEnterを押します。

## ファイルメニュー

ファイルメニューには次のオプションがあります。

1. 新規：（n）、「Enter-n」　新規文書を作成します。文書の種類を「センス文書」、「点字文書」、「DOC文書」、「DOCX文書」、「テキスト文書」から選択できます。
2. 開く：（o）、「Enter-o」　既存のファイルを開きます。開く事のできるファイル形式はtxt、doc、docx、rtf、hbl、brl、brf、epub、pdf、xml、html、htm、csv、bes、betです。
3. 保存：（s）、「Enter-s」　現在開いているファイルを保存します。名前、保存場所、ファイル形式を指定して保存します。

ファイル形式は点字データの場合、brl、brf、hpf、bes、txt、rit、hbl式に変更可能です。墨字データの場合、txt、doc、rtf、hbl、brl、brf、hpt、bes形式に変更可能です。点字データを墨字データに変更した場合、カタカナの分かち書きに変換されて保存します。墨字データを点字形式で保存した場合、点字データに自動点訳して保存します。

1. 名前を付けて保存：（a）、「Space-s」　現在のファイル名、ファイル形式、保存場所を変更して保存します。hpfファイルタイプを使用してファイルをパスワードで保護する事もできます。

ファイル形式は点字データの場合、brl、brf、hpf、bes、txt、rit、hbl式に変更可能です。墨字データの場合、txt、doc、rtf、hbl、brl、brf、hpt、bes形式に変更可能です。点字データを墨字データに変更した場合、カタカナの分かち書きに変換されて保存します。墨字データを点字形式で保存した場合、点字データに自動点訳して保存します。

1. 印刷：（p）、「Space-p」　点字印刷のみ可能です。点字プリンタと接続して印刷を行ってください。
2. 設定：（e）、「Enter-e」　文書オプションを設定するためのダイアログです。設定リスト、カーソル位置の情報、既定のフォルダ、パスワードの設定、確認とキャンセルで構成されています。

設定リストには、「フォーマット文字表示」、「読み上げ単位」、「読み取り専用 はい/いいえ」、「自動保存間隔」、「自動スクロール速度」、「全ての文書に設定を適用」、「Home/End　移動単位」、「新規ファイル名　日付と時刻/noname」の項目があります。

設定の値を変更するには、上下スクロールを使用して設定リストを選択し、Spaceで設定内容を変更します。

1. 閉じる：（z）、「Space-z」　ノートパッドを閉じます。

文書をパスワードで保護する事が可能です。文書を保護されたファイルとして保存する前にファイルメニューの設定オプションでパスワードを設定してください。

パスワード設定ダイアログは以下の項目で構成されています。

1. オリジナルファイルを削除する　チェックボックス
2. パスワードを入力してください　編集ボックス
3. もう一度パスワードを入力してください　編集ボックス
4. 確認ボタン
5. 取消ボタン

パスワードを設定したら、名前を付けて保存ダイアログでファイル種類をhpfにして保存してください。パスワードの掛かった文書ファイルを作成する事ができます。

## 編集メニュー

編集メニューには次の項目が含まれています。

1. ブロック選択開始：（b）、「Enter-b」　選択の開始をマークします。選択開始後、カーソルを選択終了位置に移動してください。移動した先のカーソル位置が選択終了位置になります。
2. コピー：（c）、「Enter-c」　選択したテキストをクリップボードにコピーします。
3. 切り取り：（x）、 「Enter-x」　選択したテキストをクリップボードに切り取ります。
4. 貼り付け：（v）、「Enter-v」　クリップボードから現在のカーソル位置にテキストを貼り付けます。
5. 削除：（d）「Space-d」。選択したテキストを削除します。
6. 空行削除：（l）、「Backspace-e」　選択したテキスト領域から空白行を削除します。
7. クリップボードに追加：（p）、「Enter-p」　以前のクリップボードを削除せずに、選択したテキストをクリップボードに追加します。
8. クリップボードをクリア：（e）、「Enter-d」　クリップボードを空にします。
9. 全て選択：（a）、「Enter-a」　文書内の全てのテキストを選択します。

## 挿入メニュー

1)マーク設定：(m)、「Enter-m」 現在のカーソル位置にブックマークを設定します。

2)マーク移動：(j)、「Enter-j」 設定したマークへ移動します。

3)マーク削除：(d)、「Backspace-d」 これまでに設定したマークを削除します。

4)ファイルから挿入：(i)「Enter-i」 現在のカーソル位置に他のファイルの文書全文を挿入します。

5)日付の挿入：(w)、「Enter-w」　現在のカーソル位置に今日の日付を挿入します。

6)時刻の挿入：(u)、「Backspace-w」 現在のカーソル位置に現在時刻を挿入します。

## 移動メニュー

1. 検索：（f）、「Space-f」　本文から文字列を検索します。「検索文字列｣、｢検索方向｣、｢確認｣ボタン、｢取消｣ボタンで構成された検索ダイアログボックスを開きます。F3で各項目を切り替えることができます。

「検索文字列」エディットボックスに検索したい文字列を入力し、「検索方向」でSpaceを押して「前へ」または「次へ」を切り替えてください。Enterを押すと検索を実行し、検索文字列が本文中にあればそこへ移動します。

「検査方向」リストボックスで上下スクロールボタンを押すと「文字種判別」のオン/オフ（大文字と小文字の判別）と「スペースを無視」のオン/オフを設定する事ができます。

必要項目の入力後Enterを押すか、「確認」ボタンを実行すると検索を開始します。

1. 再検索：（h）、「Enter-f」　前回検索した文字列と検索方向で再度検索を行います。
2. 逆向き検索：（v）、「Backspace-f」　以前検索した文字列で検索方向を逆にして検索します。
3. 置換：（r）、「Enter-r」　テキスト文字列を検索し、代替文字列に置き換えます。

「検索文字列」、「検索方向」、「確認」、「取消」で構成されたダイアログが表示されます。これらのコントロールはF3で切り替える事ができます。

「検索文字列」で検索したい文字列を入力し、下スクロールを押すと「置換文字列」が表示されます。置換文字列に置換したい文字列を入力してください。

「検索方向」ではSpaceを押すことで検索方向を「次へ」と「前へ」とを切り替える事ができます。検索方向を決めてEnterを押すと検索した文字列を置換文字列に置き換えます。

「検査方向」リストボックスで上下スクロールボタンを押すと「文字種判別」のオン/オフ（大文字と小文字の判別）と「スペースを無視」のオン/オフを設定する事ができます。

必要項目の入力後Enterを押すか、「確認」ボタンを実行すると置換を開始します。

1. 指定位置に移動：（l）、「Enter-l」　指定した位置にすぐに移動する機能です。「ページ」や「段落」、「行」。「パーセンテージ」を指定して移動できます。
2. 前の文へ：（e）、「Space-2-3-6」 一つ前の文へ移動します。
3. 次の文へ：（x）、「Space-3-5-6」 一つ次の文へ移動します。
4. 前のページへ：（b）、「Space-1-2-6」　1ページ前へ移動します
5. 次のページへ：（g）、「Space-3-4-5」 1ページ次へ移動します。
6. 前の文書へ：（p）、「Space-F3」　複数の文書が開いている場合は、ファイルを開いた順に前の文書に移動します。
7. 次の文書へ：（n）、「F3」　現在編集中の文書を開く前に開いた文書に移動することができます。

## 読み上げメニュー

1. 選択したテキストを読み上げ：（b）、「Backspace-b」　選択したテキストを読み上げます。
2. 選択されたテキストの先頭行を読み上げ：（u）、「Enter-u」　選択したテキストの先頭行を読み上げます。
3. 先頭からカーソルをまで読み上げ：（t）、「Backspace-g」　文書の先頭から現在のカーソル位置までを読み上げます。
4. カーソルから最後まで読み上げ：（g）、「Enter-g」　現在のカーソル位置から文書の最後までを読み上げます。
5. 自動スクロール：（a）　「上スクロール-下スクロール」　自動スクロール機能を開始/停止します。 「ファイル」メニューの「設定」で、自動スクロールの速度を設定できます。
6. 現在の文を読み上げ：（e）、「Space-1-4-5-6」。現在の文を読み込みます。
7. 現在の行を読み上げ：（l）、「Space-1-4」。現在の行を読み込みます。
8. 現在の単語を読み上げ：（w）、「スペース2-5」　現在の単語を読み上げます。2回連続して押すと詳細読みをします。
9. 現在の文字を読み上げ：（c）、「スペース3-6」　現在の文字を読み上げます。2回連続して押すと詳細読みをします。
10. カーソル位置を読む：（r）、「Space-1-5-6」　現在のカーソル位置をページ、段落、単語、行として読み上げます。
11. 状態を読み上げ：（s）、「Space-3-4」　文書のタイトルを読み上げます。また、挿入モードか上書きモードかを表示します。
12. 文字数とスペース数を確認：（i）、「Backspace-i」　文書中のカーソル位置までの文字数と総文字数、カーソル位置までのスペース数と総スペース数を読み上げます。

## レイアウトメニュー

1. 点字段落レイアウト：（b）、「Backspace-1-2-4-6」　現在の段落のインデントを設定します。

「先頭行のインデント」と「先頭以外全ての行のインデント」を設定できます。インデントの文字数を数字で入力してください。

Enterを押すか「確認」ボタンを実行すると設定が保存されます。

1. 点字文書レイアウト：（p）、「Backspace-p」　現在の文書の点字書式を設定します。

「1行の文字数設定」、「印刷タイプ」、「確認」、「取消」で構成されたダイアログです。これらのコントロールはF3で切り替える事ができます。

「1行の文字数設定」で上下スクロールを押すと「ページ行数設定」、「ヘッダー」、「フッター」に設定項目が切り替わります。必要な文字数や行数を数字で入力してください。

「印刷タイプ」で上下スクロールを押すと「ページ付け」、「ページ位置」、「配置」を設定する事ができます。各設定はSpaceで設定を切り替える事ができます。

Enterを押すか「確認」ボタンを実行すると設定が保存されます。

# ウェブツールの追加機能

## Google検索

Google検索を使用するとGoogleの検索サービスを使って簡単にWebページの検索が可能です。「ウェブツール」メニューから「Google検索」を選んで起動することができます。簡単設定コマンドはF1-uです。

* + 1. 検索ダイアログ

検索ダイアログは「検索語」エディットボックス、「検索」ボタン、「閉じる」ボタンで構成されています。

各項目間の移動はF3かSpace-F3を使用します。

Google検索を実行すると、検索ダイアログの「検索語」エディットボックスが開きます。検索したい用語を入力しエンターを押すか「検索」ボタンを実行すると検索を開始します。終了したい場合は、「閉じる」ボタンを実行するか、Space-zを押してください。

* + 1. 検索結果ダイアログ

検索が完了すると、検索結果ダイアログの「タイトル」リストに移動します。検索結果ダイアログは「検索語」エディットボックス、「タイトル」リスト、「概要」テキストボックス、「検索」ボタン、「閉じる」ボタンで構成されています。

「タイトル」リストでは検索語句と一致した検索結果を含むウェブページのタイトルを表示します。リストは最大で64件表示します。タイトルを表示した状態でエンターを押すと、そのWebページへ移動します。開いたウェブページを閉じると「タイトル」リストに戻ります。

「概要」には検索されたウェブページに関する情報が表示されます。「検索語」エディットボックスに検索語を入力する事で、検索結果ダイアログから再度別の検索語で検索する事が可能です。

* + 1. ブラウザ選択

Google検索を実行中にF2を押すとメニューが表示されます。メニュー項目は「設定」と「閉じる」です。「設定」と読み上げたところでエンターを押すとGoogle検索を行うブラウザを選択する事ができます。初期設定ではポラリスミニの「ウェブブラウザ」が指定されています。Androidシステム設定で指定した「既存のブラウザ」を選ぶ事も可能です。上下矢印で選択してエンターを押して決定してください。

# プレイストアとすべてのアプリケーション

ポラリスミニは独自に搭載している機能のみではなく、GoogleプレイストアからAndroidアプリをインストールして使用する事が可能です。プレイストアからアプリをインストールするためにはGoogleのアカウントが必要になります。

参考：Gmaiｌアカウントをお持ちの場合は、そのアドレスとパスワードが利用できます。

Googleアカウントをお持ちでない方は、事前にPCなどを使ってアカウントを作成してください。

メインメニューのプレイストアを実行してください。ショートカットキーはpです。

プレイストアを初めて実行した場合は、Googleアカウントのログインを行います。Googleのアカウントをご用意のうえログインを行ってください。

プレイストアやそこからインストールしたアプリケーションはAndroidアプリです。ポラリスミニに搭載された機能とは基本的な操作方法や構造が若干異なる場合があります。

ポラリスミニはプレイストアからインストールする事ができるAndroidアプリ全てが正常に動作する事を保証していません。ポラリスミニ向けに開発されていないアプリのアクセシビリティや使いやすさを保証することはできません。ポラリスミニではモバイルスクリーンリーダーでアプリを使用するため、一般的なAndroid端末でアプリを使用する場合に比べて操作が困難な場合があります。ご承知おきください。

## モバイルスクリーンリーダーの基本的な操作

以下の操作はモバイルスクリーンリーダーの基本的な操作方法です。使用するアプリによっては操作方法が異なる場合があります。

画面上の項目間を移動：F3またはSpace-F3

コンテンツ領域を移動：CtrlまたはAlt

現在のコンテンツ領域の先頭に移動：Space-1-2-3

現在のコンテンツ領域の末尾に移動：Space-4-5-6

項目の実行または選択：Enter

一つ前の画面に移動：F4

編集モード：Enter

※エディットボックスに文字を入力する場合は、入力を行う前にEnterまたはタッチカーソルキーを押して編集モードに移行する必要があります。

スライダコントロールで値を増やす：Backspace-Space-4

スライダコントロールで値を減らす：Backspace-Space-1

ダブルタップ：Space-Enter

ダブルタップしてホールド：Backspace-Space-Enter

ホールドのオン/オフ：Backspace-Space-2

## メディアキーを使った操作

ポラリスミニの前面にあるメディアキーを使ってAndroidアプリの操作を行うことが可能です。メディア切り替えスイッチを一番左のAPPに切り替えて使用します。

前のオブジェクトへ移動：戻るボタン

次のオブジェクトへ移動：進むボタン

戻る：録音ボタン

最近使用したアプリを開く：再生ボタン

メインメニューへ移動：停止ボタン

## モバイルスクリーンリーダーのオン/オフ

キーボードやマウス、ポータブルタッチモニターをポラリスミニに接続してAndroidアプリを操作することも可能です。その際はモバイルスクリーンリーダーをオフにする必要があります。モバイルスクリーンリーダーのオン/オフはメディアキーの「停止」と「次へ」を同時に押すと切り替わります。

## アプリケーションの検索とインストール

Googleアカウントを使ってログインすると、アプリケーション検索を使用できます。

既に他の端末で使用しているアプリを表示したい場合はナビゲーションドロワーを開き「マイアプリ」オプションを実行し、「全て」ボタンを実行すると、ログインに使用したGoogleアカウントでダウンロードしたアプリを表示します。

アプリリストでEnterを押すとアプリの詳細情報を表示します。インストールしたい場合は「インストール」ボタンを探してEnterを押してください。次に、インストールに必要なアプリケーションの権限を確認するダイアログが表示されます。インストールを行う場合、「同意する」ボタンを探してEnterを押してください。

## すべてのアプリケーション

インストールしたAndroidアプリはメインメニューの「すべてのアプリケーション」に登録されます。一覧はアルファベット順、50音順に表示されます。上下スクロールキーを押して選択するか、アプリ名の頭文字を入力する事で移動することも可能です。

アプリ一覧の最後に「APP管理」があります。「APP管理」ではアプリのアンインストールを行う事ができます。

## 通知

Androidアプリをインストールすると、インストールしたアプリから通知が届く場合があります。スマートホンやタブレットPCでAndroidアプリを使う場合と同じように多くのアプリはポラリスミニに関連情報の通知を行います。

ポラリスミニではSpace-1-2-3-4-5-6を押す事でアプリからの通知一覧を表示します。

Androidアプリをインストールすると、これらのアプリに関連するサウンドやアナウンスが聞こえ始める場合があります。スマートホンやタブレットの場合と同様に、多くのアプリはリアルタイムで通知をポラリスミニに送信します。機器のどの局面でもSpace-1-2-3-4-5-6を押すと、これらの通知の一覧が表示されます。一覧は上下スクロールで移動します。通知情報を表示した状態でEnterを押すと関連するアプリを起動します。F3を押すと「通知リスト」、「削除」、「閉じる」のコントロールを切り替える事ができます。通知を削除したい場合は通知の表示中にSpace-dを押すか、F3を押して「削除」を実行してください。

全ての通知を削除したい場合はSpace-Enter-dを押してください。

また、通知によっては削除できない場合もあります。

# オプション設定

以下の２項目が追加されました。

19)HDMIに仮想点字ディスプレイを表示：(b)

HDMIモニタに接続している際に、点字ディスプレイの表示状態を画面下部に表示するかどうかを設定できます。

30)電源ボタンの操作の追加：(p)

電源ボタンを軽く押した際にポラリスが入る状態を選択します。「画面オフ」と「ディープスリープ」を選ぶことができます。「ディープスリープ」に設定するとBluetoothやWi-Fiをオフにし、バッテリーの消耗が少なくなります。

# ヘルプメニューの使用

ヘルプはポラリスミニのマニュアルデータから構成されており、ポラリスミニの多くの機能について確認することができます。これらのヘルプファイルにアクセスするには、F1を押してメインメニューに移動し、上下スクロールでヘルプに移動して実行します。または、hを押すと簡単にヘルプに移動して開くことができます。またF1-hを使用すると、どの局面でもヘルプを起動することができます。

ヘルプが起動するとナビゲーションメニューを表示します。

上下スクロールを使用して目的の項目に移動します。目的の項目でEnterを押すとヘルプの内容を表示します。また、目的の項目の中にサブメニューがある場合F3を押すと表示できます。前の項目に戻る場合はSpace-F3を押してください。

例えば、メディアの項目でエンターを押すとメディア全体のマニュアルを表示します。メディアの項目でF3を押すと「メディアプレーヤー」、「FMラジオ」、「DAISYプレーヤー」を選択できます。メディアプレーヤーの項目でエンターを押すとメディアプレーヤーの部分のマニュアルを表示します。メディアプレーヤーの項目でF3を押すとメディプレーヤーのマニュアル本文内の各項目を選択できます。マニュアル本文の読みたい箇所がわかっている場合、細かく位置を指定して閲覧できるので便利です。

文書を読み上げるための操作はノートパッドと同じです。ヘルプを開いた状態でSpace-nを押すとナビゲーションメニューに戻ります。

ポラリスミニのマニュアルを参照するときに、Space-fを押してテキストを検索できます。検索エディットボックスに検索したい文字列を入力し、Enterを押すと入力した文字列を検索します。Enter-fを押すと、検索した特定の文字列の次の該当箇所に移動することができます。

ヘルプの概要では、ポラリスミニの各部の名称やその機能の概要について説明します。

基本的機能では、ポラリスミニのプログラムの概要や操作について説明します。

設定では、日付と時刻の設定、インターネット設定、Bluetooth接続、およびオプション設定の説明とそれらの設定を使用してポラリスミニを設定する方法を説明します。

他の項目ではポラリスミニのそれぞれの機能を詳細に説明します。

コマンドリストは、ポラリスミニの全てのプログラムのホットキーのクイックリファレンスで、特定のプログラムの全ての操作を確認せずにアクションを実行するためのキーストロークを知りたい場合に便利です。

また、実行している特定のタスクに関連するヘルプを表示することもできます。 任意のプログラム内でSpace-hを使用して、そのプログラムで使用可能なキーストロークの一覧を表示します。

Space-zを押すとヘルプを終了します。